

淀川河川公園 鳥飼上地区 公園整備計画

令和 3 年 9 月

近畿地方整備局 淀川河川事務所

■鳥飼上地区の現況

| 年間利用者数と主な公園施設 | |
|------------------|--|
| 年間利用者数 (令和元年) | 年間利用者数 180,445人 野球場 28,397人 サッカー・ラグビー場 11,442人 テニスコート 3,915人 ローラースケート場 約500人 ※運動施設利用者は年間利用者数の内数 |
| 主な公園施設 | 野球場 3面 サッカー・ラグビー場(陸上トラック兼用) 1面 テニスコート 7面(うち3面使用停止中) ローラースケート場 1面 駐車場 323台、BBQエリア 管理所 1箇所、トイレ |

| 各視点からの現況 | | | | |
|----------|--|---|---|---|
| | ゾーニング計画の実現 | 魅力 | 快適性 | つながりの改善 |
| 現況 | <ul style="list-style-type: none"> 現在の供用区域は、ほとんどが「多目的利用ゾーン」内にあり、水際部の一部が「水辺環境保全・再生ゾーン」に含まれている。 「水辺環境保全・再生ゾーン」の一部の水際部には、河畔林が繁茂している箇所が存在している。 | <ul style="list-style-type: none"> 下流側に隣接する鳥飼下地区と併せて、広大な敷地に多数の運動施設がある。過去の洪水等により使用されていないテニスコートがある。 鳥飼仁和寺大橋が風景のアクセントとなっている。 バーベキューエリアが指定されている。 | <ul style="list-style-type: none"> 駐車場が下流側と上流側の2箇所に存在し、トイレ、手洗いが設置されている。 鳥飼サービスセンターに隣接しており、水洗トイレ、会議室、情報コーナー等のサービスを利用できる。 運動施設が多くを占めており、多目的に利用できる一般園地の面積が比較的少ない。 | <ul style="list-style-type: none"> 堤内地側には住宅地や商業地等の市街地が広がり、アクセス性がよい。 公共交通機関はバス路線があり、最寄りのバス停から徒歩5分程度である。 緊急用河川敷道路により上下流方向への移動が容易である。 下流側には鳥飼下地区が連続している。 |



■鳥飼上地区の整備方針

淀川河川公園の整備方針（基本計画）

（1）ゾーニング計画を新たに定める

- 基本計画における地区区分計画を改め、淀川の自然環境が縦断及び横断方向に連続するようなゾーニング計画を新たに定める

（2）淀川の自然環境の保全・再生を図る

- 自然環境の連続性に留意しながら、自然環境のネットワーク及び淀川の特徴ある水辺の景観を保全・再生する
- 干潟や砂州、ヨシ原、ワンド、たまり等の水陸移行帯や淀川固有の生物が生息・生育できる場を保全・再生する

（3）淀川らしい利用ができるようにする

①淀川の自然環境と利用との調和を図る

社会動向の変化、周辺の都市の状況、地域住民・利用者のニーズや意見を踏まえ、地区ごとの特性を考慮しながら淀川の自然環境との調和を図る

②淀川の自然環境の中で水に親しみ、憩う場をつくる

地区ごとの特性を活かし、水辺での水遊びや自然観察、原っぱでの遊びや運動、休憩、散歩など様々な形で淀川の自然環境の中で水に親しみ、憩う場をつくる

③淀川全体をつなぐ・まちと淀川をつなぐ

散策やジョギング、サイクリングなどが行えるよう、淀川全体をつなぐとともに、周辺地域と淀川にまつわる歴史・文化資源の散策・周遊等のルート設定や、広域避難地としての役割など、まちと淀川をつなぐ取り組みを行う

④淀川の水辺の景観を楽しめる場をつくる

水辺越しに見える都心部の眺望景観、北摂連山や天王山、男山、生駒山地などの山なみと一体的な景観との調和を図り、水辺の景観を楽しめる場をつくる

（4）淀川にまつわる歴史・文化資源を活かす

- 渡しや舟運、旧毛馬閘門・洗堰や川港跡、樋跡、三川合流部などの保存や展示、言い伝えを後世に伝えるなど、淀川にまつわる歴史・文化の資源を活かす

鳥飼上地区の特性

- ・摂津市の市街地から比較的アクセスしやすく、広大な空間となっている。
- ・堤内側には住宅地や商業地が集まっている。
- ・野球場、サッカー・ラグビー場、テニスコート等のスポーツ施設が充実しているが、一般園地の占める割合が比較的少ない。また、過去の洪水等により使用されていないテニスコートがある。
- ・会議室、水洗トイレ等のサービス施設がある鳥飼サービスセンターに隣接している。
- ・下流側に隣接する鳥飼下地区には船着場がある。



鳥飼上地区の整備方針

◇淀川ならではの空間特性を活かした、さらに利活用が図られるよう、施設構成の見直しを行います

- ①利用頻度の少ない運動施設や、災害等により利用停止となっている運動施設を、より多くの人々が利用しやすくなるように再整備します。
- ②市街地からアクセスしやすい特性を活かし、イベント利用時の利便性が高まるよう、臨時の駐車スペースを確保します。

◇人々が淀川の河川景観にふれあい、気軽に多目的なレクリエーションを楽しめる場を提供します

- ①地域や周辺の人々が集まり、気軽に運動やピクニック、バーベキューなどを楽しめ、淀川の水辺の景観にふれることができるレクリエーションの場を提供します。
- ②運動施設の見直しにより、自然体験、健康づくり、多彩な運動、BBQ、各種イベントなど、利用者の創意工夫で多目的に利用できる広場づくりを進めます。

◇淀川全体やまちとつなぐ結節点を確保します

- ①鳥飼サービスセンターと一体的な活用を行うことで、まちと川のつながりが高まるように努めます

■鳥飼上地区の整備内容

3. 案内サイン等の設置

(つながりの改善)

- ・河川公園と鳥飼サービスセンターの相互利用を促進するための、サイン等の情報発信ツールの設置

2. テニスコートの臨時駐車場への転換

(快適性の向上)

- ・老朽化により利用されていないテニスコートの撤去、臨時駐車場としても利用できる広場を整備

1. 使用していない運動施設の新たな多目的用途施設への転換

(魅力の向上) (自然環境への配慮)

- ・使用していないテニスコートと老朽化したローラースケート場について、多目的利用が可能な芝生広場の整備を行う。
- ・老朽化したローラースケート場については、近年の多様なローラースポーツのニーズにも考慮したうえで、施設規模を縮小した再整備を行う。



※およそ5年程度を目途として、整備・再整備の実施が見込まれる内容について記載している。
 ※地域協議会での議論、治水・環境の視点からの技術的検討、予算状況等により変更となることがある。

■鳥飼上地区の整備内容

| | 整備項目 | 該当項目 | 現状・課題・ニーズ | 概要 |
|---|----------------------------|-----------------------|---|---|
| 1 | 使用していない運動施設の新たな多目的用途施設への転換 | 【魅力の向上】 【自然環境への配慮】 | <ul style="list-style-type: none"> ・テニスコートの一部が、過去の洪水による被害や老朽化のため利用出来ない。 ・鳥飼上地区には、利用者が自由に使える多目的に利用可能な芝生広場がない。 ・ローラースケート場の舗装やコース設備が老朽化し、危険なために利用停止となっている部分がある。 ・最近ではローラースケートだけでなく、スケートボードなど多様なローラースポーツニーズが高まっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・被災・老朽化により利用されていないテニスコートやローラースケート場を見直すことで、より多目的な利用ができる空間を整備する。 ・利用されていないテニスコートは撤去する。 ・ローラースケート場については、施設規模を縮小しつつ、より多様なローラースポーツニーズを考慮し、河川区域内で実施可能な再整備を行う。 ・自由に使える多目的に利用可能な芝生広場を整備する。 |
| 2 | テニスコートの臨時駐車場への転換 | 【快適性の向上】 | <ul style="list-style-type: none"> ・テニスコートの一部が老朽化して利用停止になっている。 ・大規模なイベントを開催する場合は、現在の公園内の駐車場が満車になる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用停止となっているテニスコートの一部を撤去し、臨時駐車場としても利用できる広場を整備する。 |
| 3 | 案内サイン等の設置 | 【つながりの改善】 | <ul style="list-style-type: none"> ・後背地に市街地が隣接しているにも関わらず、イベント開催時以外の日常的な公園利用は盛んとはいえず、隣接する鳥飼サービスセンターを活用した、まちと川とのつながりの改善が求められる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・河川公園と鳥飼サービスセンターの相互利用を促進するための、案内サイン等の情報発信ツールを、公園の駐車場付近と鳥飼サービスセンターに設置する。 |

※およそ5年程度を目途として、整備・再整備の実施が見込まれる内容について記載しています。
 ※地域協議会での議論、治水・環境の視点からの技術的検討、予算状況等により変更となる場合があります。